

地域メディアプロデューサー 育成講座のご案内

- ✓ 自分・自慢の生製品のPR動画を作ってみませんか？
- ✓ 市民のみなさんに有益な情報発信を試みませんか？

① 地域メディアプロデューサー育成講座の目的

地域にある観光資源や産品等のリソースをローコストかつハイパフォーマンスな映像制作を駆使して映像コンテンツ化し、国際的に配信するためのスキルを持った人材、いわゆる「地域メディアプロデューサー」の育成を図ることを目的としています。

また、行方市においては、活力あるまちづくりと市民の安心安全な生活を守るため、様々な地域情報の発信を行い、更なる地域活性化を図る手段として、(※1)エリア放送の構築を図っており、来年3月中の開設を目指しています。

この「エリア放送」は、家庭のテレビチャンネルを合わせるだけで、市から発信する防災情報等が簡単に受信できるものです。

汎用性が高いため、防災情報はもとより、市政情報や議会中継等も可能であり、さらに農産物のPRの場として、あるいは健康体操の放映による健康寿命講座の放映や買い物弱者支援策としての活用など、多様な可能性が秘められています。

そうしたことから、「地域メディアプロデューサー」を中心とし、市民の皆さんとともに有益な情報が発信できるよう取り組んでまいります。

※エリア放送とは、地上デジタルテレビジョン放送に割り当てられたUHF帯の空きスペース(空きチャンネル)を活用したエリア(地域)限定の放送サービスです。



② 講座内容

当講座を一言で言うと「映像製作から情報発信まで全てわかる」講座で、受講すると以下のような成果が望めます。

①CMを外注すると高額な費用が掛かりますが、この講座を受講するとプロの監修によるCMのような動画を完成させることができます。

- ・自分のセールスポイントなどを強調したプロモーションビデオの作成技術の習得によって進学、就職に役立てることができます。
- ・自慢の農産物等のPR技術が向上し、ネット販売等による販売拡大を目指すことができます。

②動画に使用する音楽もこの講座内での作品に限り講師より提供されます(講師は音楽家でもあり、作品に使用する音楽も講師が作曲しています)。講座修了後も希望者には定期的な講師による継続フォローの仕組みもあります。(有料)

③自社で動画を制作できる人材が養成できれば、今後は外注コストを掛けずに、PR動画が制作できるようになる、のみならず、伝えたい人(ステークホルダー)の共感を誘い、「伝わる」情報の制作やデザイン、運用方法全般を学べるので普段の営業活動や広報活動にも活用して頂けます。

layar アプリを使って、ARコンテンツを楽しもう！

※インターネットに接続できる環境が必要です。



QRコードから『Layar』アプリをインストールし、アプリを開きます。



紙面全体が画面に収まるようにスマートフォンをかざし、画面をタップします。

映像製作を学び、お店、団体、そして地域のPRに役立てよう
映画や映像を使ったまちづくりに興味のある方・参加募集中

- ①定員：20名※原則、全カリキュラムに参加可能の方とします。(全回出席が困難な方は事前にご相談下さい。)
- ②受講対象者：市内在住の方及び在勤の方とします
- ③受講料：無料(市負担)※記録媒体及び消耗品は各自負担
- ④持参していただくもの：デジタルカメラ、筆記用具※用意できない方は事前にお知らせください。
- ⑤申込み切日：6月30日(火)※ただし定員になり次第切らせていただきます。(定員に空きがある場合は随時受け付けいたします。)
- ⑥申込方法：電話・ファックス・メール、その他いずれの方法でも結構です。

カリキュラム (2015年度)					
回数	月/日(曜)	場所	講義時間	講義内容	備考
第1回	7/3(金)	天王崎観光交流センター「コテラス」	自19:00 至21:00	オリエンテーション、モノの見方を知る(講義) ◇ 情報運用概論 ◇ グローカルメディアプロデューサー®について ・情報発信と情報運用の違い ・「型」と「序破急®」モデルとは ・ストーリーとスペックの映像言語化 ◇ 講座の背景 ・地域や企業のプレゼンテーション力 ◇ 映像教育から生み出された技術 ・キャラクター設定からみる人の行動原理 ・「バイアス」による「印象」の与え方 ・人間の三大本能と感覚変容	
第2回	7/13(月)		自19:00 至21:00	撮影ワークショップ(講義) ◇ 感覚を動かす写真の撮り方 ・加工方法 ・写真の物語と意味(フォーカシング、集中誘導) ・写真の切り取り方(フレーミング空想誘導) ・距離と時間の関係	
第3回	9/4(金)		自19:00 至21:00	インタビューとシナリオ編成(講義) ◇ インタビュー手法 ・人の行動原理(考え方、感じ方、伝え方)からみるインタビュー方法 ◇ 表現方法 ・インタビューマッピング ・言い換え、見立て、つなぎ換え	
第4回	9/18(金)		自19:00 至21:00	○各自事前取材撮影 映像編集(実践) ・ソフトウェアインストールと使い方、YouTubeへのアップロード方法 ・編集のコツ(音楽、配置)など	
第5回	10/23(金)		自19:00 至21:00	映像編集(実践) ・ソフトウェアインストールと使い方、YouTubeへのアップロード方法 ・編集のコツ(音楽、配置)など	
第6回	11/27(金) :発表会		自19:00 至21:00		

講師 榎田 竜路 Ryuji Enokida
プロフィール(2015/4/23現在)
・音楽家
・合同会社アースボイスプロジェクト代表社員
・北京電影学院ニューメディアアート科客員教授
・経済産業省「地域活性化を担う「キーパーソン研究会」委員
・ひとづくりの切磋琢磨による地域創生実行会議委員
・内閣府「地域活性化伝道師
・公益社団法人東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会
「経済・テクノロジー」専門委員会委員
・復興支援メディア隊 代表

※動画編集・監修(完成までフェースブックグループで監修) ※講義内容等は講師の都合により予告なく変更する場合があります。
専門のひとつである身体技法の研究から、日本の伝統文化の底に息づく「型」に着目。この「型」の持つ、人の感覚を引き出す働きを映像に応用。地域情報のグローバルな展開を支えるメディア手法「序破急モデル®」や地域や企業の情報をプロデュース出来る人材の育成手法「グローカルメディアプロデューサー®」を開発。中小企業の連携促進やITを活用した情報発信システム構築と合わせ、「情報運用手法」と名付け、全国に展開している。
特に中小企業や地域に「物語」を見出し、それをコンテンツ化してグローバルに展開する能力は卓越しており、震災後の復興や中小企業の活性化に尽力している。
アースボイスプロジェクトが制作・監修した中小企業や地域の映像は現在までに1000社を数える。またグローカルメディアプロデューサー®育成講座は、全国各地で開催し、現在までに400名余の人材を育て上げている。
アースボイスプロジェクトの代表を務める傍ら、平成22年度経済産業省「キーパーソン研究会」委員、内閣府「地域活性化伝道師」等、政府の地域活性化分野のアドバイザーとして全国に幅広いネットワークを持っている。
一方、音楽家としての活動、映像・音楽制作のみならず、NPO法人映像情報士協会やNPO法人横浜アートプロジェクトの理事長を務め、日本映画大学、北京電影学院、韓国フィルムアカデミー、台湾藝術大学、クイーンズランド工科大学(豪州)等の東アジア、オセアニア各国・地域を代表する映像教育機関との太いパイプを有しており、これら組織と連携して交流を促進する映像関連イベント開催や、人材育成等を実施している。
アースボイスプロジェクトのサイト <http://ev-pj.com/>
2011年3月11日の東日本大震災を受けて、マスメディアでは取り上げられない、被災地の情報を運用することで、被災地の中長期的な支援を行っている。<http://ramediateam.org/>

行方市役所 総合戦略課 宛て

地域メディアプロデューサー講座 / 申込書
Fax:0299-72-1537

ご注意 番号をお間違えの無いようにお願いします。
このまま切り取らずに直接 Fax してください。

(ふりがな)
氏 名：

年齢：
※学生の場合は学年

性別：

勤務先・学校名：

住所：

電話番号：

連絡先

E-mail：

携帯電話：

デジタルカメラ持参の可否
どちらか一方に○印をつけて下さい。

可

否

お問い合わせ (必要に応じ記入ください)

お問合せ先：行方市役所 総合戦略課

Tel：0299-72-0811内

E-mail：name-sousen@city.namegata.lg.jp

※本申込書により収集した個人情報につきましては、個人情報等に基づき適切に管理いたします。